

Japanese Utility Model Laid-Open Publication No. 54-30624

Laid-Open Date: February 28, 1979

Japanese Utility Model Application No. 52-103161

Filing Date : August 1, 1977

Inventor : Fumima HIYAMA

Applicant: Toppan Insatsu Kabushiki Kaisya

#### PAPER ASSEMBLY BOX

A paper assembly box of the present invention comprises a sleeve portion and a boat-like portion. The sleeve portion includes an outer front wall (1), outer side walls (3), (4) connecting to right and left sides of the outer front wall (1), respectively, through a folding line (b) or (c), an attaching piece (5) connecting to the outer side wall (3) through a holding line (d), and an outer back wall (2) connecting to the outer side wall (4) through a folding line (a). A horizontal cutting line (8) having a contact point (9') and inclined cutting lines (6), (7) having a contact point (9) or (9'') are arranged on the outer front wall (1) and the outer side wall (3), (4). A horizontal folding line (e) connecting to the inclined cutting line (6) is arranged on the outer back wall (2). The boat-like inner portion includes an inner central wall (10), a cover part (14), an inner side wall (12), a bottom part (15) and an inner side wall (11) connecting to a periphery of the inner central wall (10), respectively, through a folding line (f), (j), (h) or (k), attaching pieces (13), (16) connecting to the cover part or the bottom part, respectively, through a folding line (g) or (i), and ear-like pieces (17) connecting to the inner side walls (11), (12), respectively, through a folding lines (1) at four corners of the boat-like inner portion. A concave cutting line (18) having contact point (19), (19') is arranged on top side parts of the inner central wall (10) and the inner side walls (11) (12).

**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

## 公開実用新案公報

昭54—30624

⑫Int. Cl.<sup>2</sup>

B 65 D 5/54

B 65 D 5/64

識別記号

⑬日本分類

132 C 22

132 C 51

132 C 02

庁内整理番号

6688—3E

6688—3E

⑭公開 昭和54年(1979)2月28日

審査請求 未請求

(全 2 頁)

## ⑮組立式紙函

東京都世田谷区池尻3—25—3

⑯出 願 人 凸版印刷株式会社

東京都台東区台東1丁目5番1号

⑰実 願 昭52—103161

⑱出 願 昭52(1977)8月1日

⑲考 案 者 檜山文磨

## ⑳実用新案登録請求の範囲

外方前壁1の左右両側に折線eを介して外方側壁4, 5を連設し、該外方側壁3には、糊着片5を外方側壁4には外方後壁2をそれぞれ折線d, aを介して連設し、接点9を有する水平切線を外方前壁1の上縁寄りに該切線の両端に連なり接点9, 9'を有する傾斜切線6, 7を外方側壁3, 4に設け、該切線6に連続する水平状の折線eを外方後壁2に設けてなるスリーブ部と内面壁10の四周に折線f, j, h, kを介して蓋部14内方側壁12底部15内方側壁11を連設し、該蓋部14底部15には折線g, iを介して糊着片13, 16を連設し、四隅にそれぞれ内方側壁11, 12に折線lを介して耳片17を設け、内面壁10内方側壁11, 12の上縁寄りに接点19,

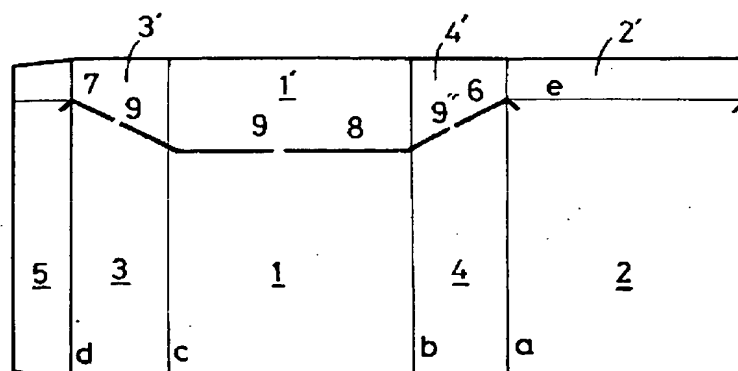
19'を有する凹状の切線18を設けてなる中舟部の二体からなる組立式紙函。

## 図面の簡単な説明

図面は本考案の実施例を示すもので第1図はスリーブ部の展開図、第2図は中舟部の展開図、第3図はスリーブ部に中舟部を挿入する前の斜視図、第4図は完成した斜視図である。

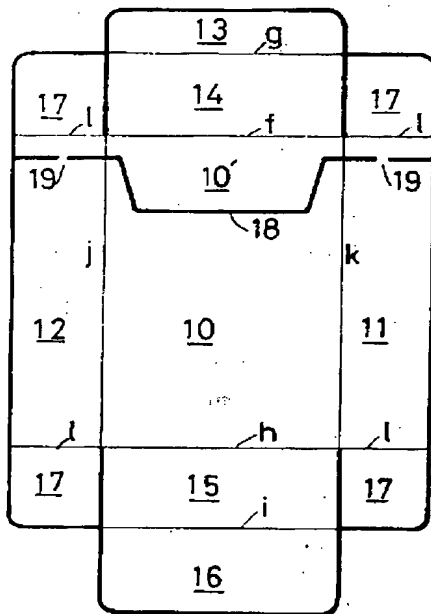
1……外方前壁、2……外方後壁、3, 4……外方側壁、5……糊着片、6, 7……傾斜切線、8……水平切線、9, 9', 9''……接点、10……内面壁、11, 12……内方側壁、13……糊着片、14……蓋部、15……底部、16……糊着片、17……耳片、18……切線、19, 19', 19''……接点、a~l……折線。

第1図

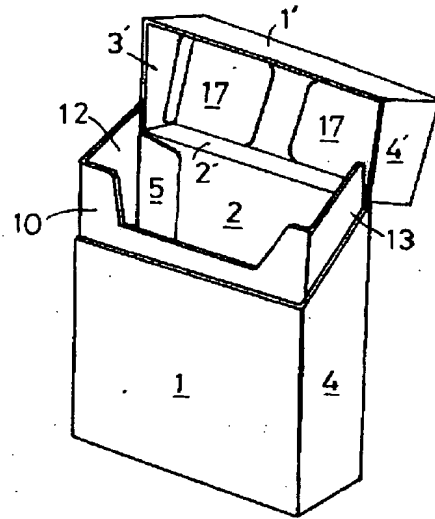


**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

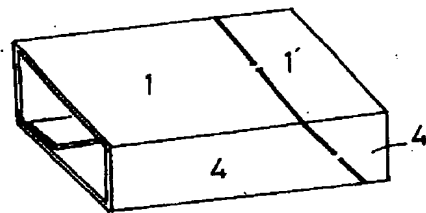
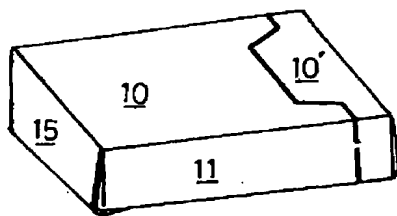
第 2 図



第 4 図



第 3 図



**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

昭和52年実願第103161号(実開昭54-30624号、昭和54年2月28日発行公開実用新案公報54-307号掲載)については実用新案法第55条第2項において準用する特許法第17条の2の規定による補正があつたので下記のとおり掲載する。

Int.Cl.<sup>3</sup>  
B 65 D 5/54  
5/64

識別記号 庁内整理番号  
6452-3 E  
6452-3 E

記

1 実用新案登録請求の範囲を次のように補正する。

⑦実用新案登録請求の範囲

外方前壁1の左右両側に折線b、cを介して外方側壁3、4を連設し、該外方側壁3には、糊着片5を外方側壁4には外方後壁2をそれぞれ折線d、aを介して連設し、接点9'を有する水平切線を外方前壁1の上縁寄りに該切線の両端に連なり接点9、9''を有する傾斜切線6、7を外方側壁3、4に設け、該切線6に連続する水平状の折線eを外方後壁2に設けてなるスリーブ部と内面壁10の四周に折線f、j、h、kを介して蓋部14内方側壁12底部15内方側壁11を連設し、該蓋部14底部15には折線g、iを介して糊着片13、16を連設し、四隅にそれぞれ内方側壁11、12に折線lを介して耳片17を設け、内面壁10内方側壁11、12の上縁寄りに接点19、19'を有する凹状の切線18を設けてなる中舟部の二体からなる組立式紙函。

昭和52年実願第130825号(実開昭54-58321号、昭和54年4月23日発行公開実用新案公報54-584号掲載)については実用新案法第55条第2項において準用する特許法第17条の2の規定による補正があつたので下記のとおり掲載する。

Int.Cl.<sup>3</sup>  
B 65 D 1/28

識別記号 庁内整理番号  
6862-3 E

記

1 実用新案登録請求の範囲を次のように補正する。

⑦実用新案登録請求の範囲

- (1) 発泡樹脂シートの両面に紙を積層して成る積層材料を成形して成る容器。
- (2) 発泡樹脂シートとして発泡ポリスチレンを用いることを特徴とする実用新案登録請求の範囲第1項記載の容器。
- (3) 発泡樹脂シートとして発泡ポリエチレンを用いることを特徴とする実用新案登録請求の範囲第1項記載の容器。

**THIS PAGE BLANK (USPTO)**





13,000円

# 実用新案登録願

昭和 52 年 8 月 / 日

適

特許庁長官 熊谷善二殿

1. 考案の名称 カミタデンキカミバコ  
組立式紙函

2. 考案者

住所 東京都世田谷区池尻 3-25-3

氏名 榎山文磨

3. 実用新案登録出願人

郵便番号 110-□□

住所 東京都台東区台東1丁目5番1号

名称 (319) 凸版印刷株式会社

代表者 澤村嘉一

4. 添附書類の目録

(1) 明細書

1 通

(2) 図面

1 通

(3) 願書副本

1 通



54-30624

52 103161

方式審査 (特許)

## 明 細 書

### 1. 考案の名称

#### 組立式紙函

### 2. 実用新案登録請求の範囲

外方前壁(1)の左右両側に折線(b)(c)を介して外方側壁(4)(5)を連設し、該外方側壁(3)には、糊着片(5)を外方側壁(4)には外方後壁(2)をそれぞれ折線(d)(e)を介して連設し、接点(9)を有する水平切線を外方前壁(1)の上縁寄りに該切線の両端に連なり接点(9)(9')を有する傾斜切線(6)(7)を外方側壁(3)(4)に設け、該切線(6)に連続する水平状の折線(e)を外方後壁(2)に設けてなるスリーブ部と内面壁(10)の四周に折線(f)(g)(h)(i)を介して蓋部(10)内方側壁(10)底部(10)内方側壁(11)を連設し、該蓋部(10)底部(10)には折線(g)(i)を介して糊着片(10)(10)を連設し、四隅にそれぞれ内方側壁(11)(11)に折線(h)を介して耳片(10)を設け、内面壁(10)内方側壁(11)(11)の上縁寄りに接点(10)(10')を有する凹状の切線(10)を設けてなる中<sup>角</sup>部の二体からなる組立式紙<sup>箱</sup>

請求項

請求項

### 3. 考案の詳細な説明

本考案は頭部が開閉自在となる組立式紙面に関するものである。

本考案を図面により説明するとスリーブ部（第1図）と中舟部（第2図）からなり該スリーブ部は外方前壁(1)の左右両側に折線(b)(c)を介して外方側壁(4)(3)を連設する。該外方側壁(3)には折線(d)を介して、糊着片(5)を、外方側壁(4)には折線(a)を介して、外方後壁(2)を連設する。

該外方前壁(1)の上縁寄りに接点(9)'を有する水平切線(8)と、その両端に連なり接点(9)(9)'を有する傾斜切線(6)(7)をそれぞれ外方側壁(4)(3)に設け、切線(8)に連続する水平状の折線(e)を外方後壁(3)に設ける。中舟部（第2図）は内面壁(10)の四周に折線(f)(j)(k)(l)を介して蓋部(10)内方側壁(12)底部(10)内方側壁(11)を連設する。該蓋部(10)には折線(h)を介して、糊着片(13)を底部(10)には折線(i)を介して糊着片(14)を連設し四隅にそれぞれ内方側壁(11)(12)に折線(g)を介して耳片(15)を設ける。

次に上縁寄りに図に示す如く凹状で接点(10)(10)'を

有する切線<sup>⑧</sup>を設ける。

本考案の紙<sup>紙</sup>を組立てるには、まずスリーブ部<sup>1,3,4,5</sup>の折線<sup>(a)(b)(c)(d)</sup>を直角に折り曲げ、糊着片<sup>(5)</sup>により直方体筒状を形成する。中舟部は折線<sup>(j)(k)</sup>を直角に折り曲げ、折線<sup>(l)</sup>によって耳片<sup>(m)</sup>を折り該耳片<sup>(m)</sup>を被せるように蓋部<sup>(14)</sup>底部<sup>(15)</sup>糊着片<sup>(13)</sup>、糊着片<sup>(10)</sup>を折線<sup>(f)(h)(i)(1)</sup>によって折り第3図の如き形状を形成する。

次に中舟部をスリーブ部に挿入し、中舟部の外方前壁<sup>(1)</sup>外方後壁<sup>(2)</sup>の頭部<sup>(1)′(2)′</sup>の裏側と、スリーブ部の内面壁の頭部<sup>(10)′</sup>および糊着片<sup>(13)</sup>に糊をつけて接着する。

内容物を収容するには内容物を底部から入れた後、糊着片<sup>(10)</sup>を外方前壁<sup>(1)</sup>の裏面に糊着させればよく、また内容物を取り出すには、外方前壁<sup>(1)</sup>、外方側壁<sup>(3)(4)</sup>の頭部<sup>(1)′(3)′(4)′</sup>を上方に引き上げるようにすれば、断続切線<sup>(6)(7)(8)</sup>の接点部<sup>(9)(9)′(9)″</sup>が切れ、該切線<sup>(6)(7)(8)</sup>によって頭部が横割れ状に割れて折線<sup>(6)</sup>を軸として上蓋体が傑脱自在となり簡便に内容物を取り出すことができる。

以上に述べたように本考案の紙函は、簡単に組み立てられ、製函機によつて大量生産ができ、二重函体で構造が堅牢で、内容物の取り出しが便利ゆえ菓子類、煙草類、薬品等の比較的取出しが頻繁な商品を収納する紙函として効果がある。

#### 4. 図面の簡単な説明

図面は本考案の実施例を示すもので第1図はスリーブ部の展開図、第2図は中舟部の展開図、第3図はスリーブ部に中舟部を挿入する前の斜視図、第4図は完成した斜視図である。

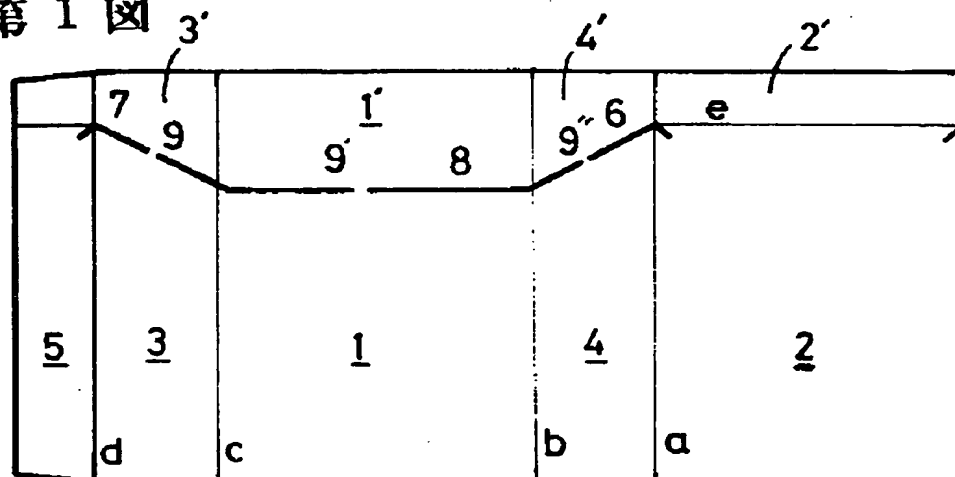
- (1) — 外方前壁    (2) — 外方後壁    (3) (4) — 外方側壁
- (5) — 糊着片    (6) (7) — 傾斜切線    (8) — 水平切線
- (9) (9)' (9)'' — 接点    (10) — 内面壁    (11) (12) — 内方側壁
- (13) — 糊着片    (14) — 蓋部    (15) — 底部    (16) — 糊着片
- (17) — 耳片    (18) — 切線    (19) (19)' (19)'' — 接点
- a ~ e — 折線

実用新案登録出願人

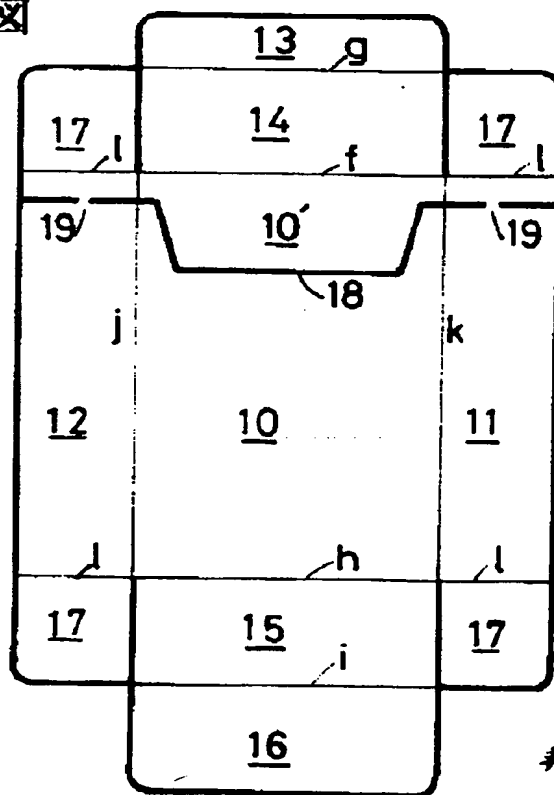
凸版印刷株式会社

代表者 澤村嘉一

第 1 図



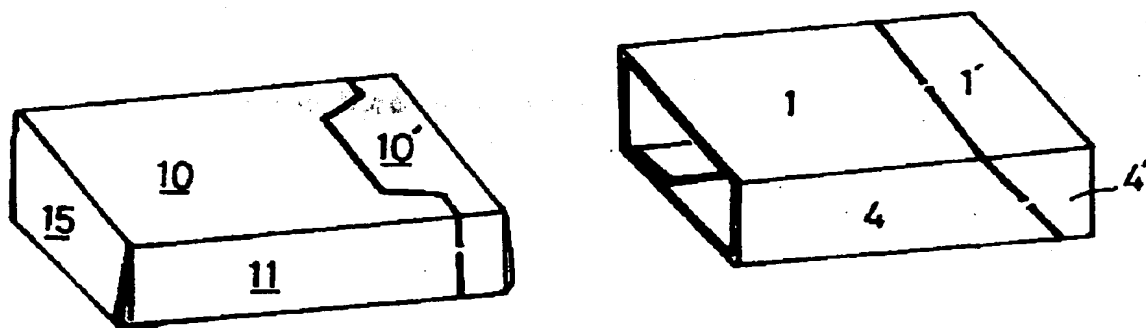
第 2 図



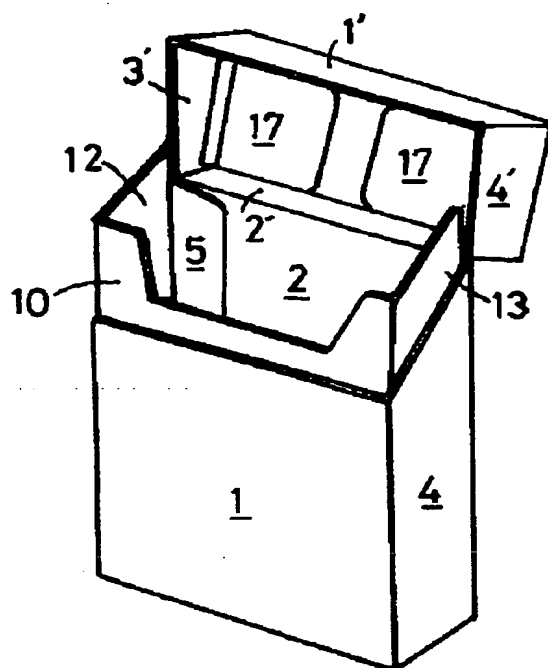
美用新案登録出願人  
凸版印刷株式会社  
代表者 澤村嘉一

30624  $\frac{1}{2}$

第 3 図



第 4 図



30624  $\frac{2}{2}$

實用新案登録出願人  
凸版印刷株式会社  
代表者 澤村嘉一

THIS PAGE BLANK (USPTO)